

ありあけ

熊本産かぼちゃ使い新商品

ありあけ（横浜市中区）は4月に起きた熊本地震の復興支援に向け、熊本県産の「万次郎かぼちゃ」を材料にした横浜銘菓「ありあけハーバー」を発売する。藤木久三会長（74）は「できる限り早く完成させ、熊本ゆかりのハーバーを通じて支援の輪を広げたい」と話している。

福井県出身の藤木会長は子どもたちのころ、多くの人が亡くなった1948年6月の福井地震で九死に一生を得た。体験から被災者のつらさがよく分かるため、東日本大震災などで支援活動に取り組んでいる。

熊本地震でありあけは、来年5月末までハーバーシリーズなどの売り上げ1個につき1円を寄付する。さらに、地域再生に

「ハーバー」で復興支援

もつなげようと、全国的に知られるハーバーの新たなシリーズとして熊本県産の材料を使うことを決めた。

ありあけによると、万次郎かぼちゃは栄養素が豊富。糖度が高く、裏ごししやすいので、お菓자에最適という。藤木会長は「万次郎かぼちゃとハーバーのコラボ。たくさんの人に食べてほしい」と話す。

これに先立ち、藤木会長は5月30日、熊本市役所を訪れ、大西市長に熊本城の復旧支援金として1200万円の目録を手渡した。横浜を観光ナンバーワン都市にしたいという藤木会長は「熊本にも多くの観光客が訪れてもらいたい。シンボルの熊本城復旧にぜひ役立ててほしい」と呼び掛けた。大西市長は「元の姿に戻すため、一生懸命頑張ります」と感謝したという。

問い合わせは、ありあけお客様相談室 ☎（0120）421900。

（石曾根 剛）



熊本市の大西市長（左）に目録を渡すありあけの藤木会長
熊本市役所（ありあけ提供）